

○平成10年8月4日に発生した集中豪雨により、鳥屋野潟流域において甚大な浸水被害をもたらした『平成10年8月新潟豪雨』から今年で20年が経過するとともに、その豪雨水害を契機に整備された『鳥屋野潟排水機場』が竣工15周年を迎えました。

○当時の災害を風化させないとともに、排水機場の役割や効果について広く一般の方に知って頂くため、新潟市内の公共施設において、パネル展を開催しました。

(信濃川やすらぎ堤 川まつり:H30.5.3~5、新潟市西区役所:H30.8.16~30、新潟市東区役所:H30.9.3~13、新潟市役所(本館):H30.9.18~27)

排水機場の概要

- ・平成10年8月4日、未曾有の豪雨が新潟地方を襲い、新潟市では観測史上最大の1時間雨量97mm、日降水量265mmを記録し、通船川及び鳥屋野潟流域に多大な被害をもたらしました。
- ・この結果、平成10年度に河川激甚災害対策特別緊急事業(略称:激特事業)に採択され、既存の親松排水機場 $60\text{m}^3/\text{s}$ を含めた $100\text{m}^3/\text{s}$ の排水を確保するため、 $40\text{m}^3/\text{s}$ の鳥屋野潟排水機場と将来計画 $180\text{m}^3/\text{s}$ を見据えた排水樋門の建設を開始しました。



位置図



鳥屋野潟排水機場



新潟市内の浸水状況(西区坂井東地内 H10.8)

展示パネルの一例



平成10年8月新潟豪雨 → 平成15年鳥屋野潟排水機場 竣工

平成10年8月豪雨で新潟のまちは水びたし

8月4日、前線の活動が活発になり、下越地方や佐渡地方が集中豪雨に見舞われました。新潟市では1時間に97mm(観測史上最大)、1日で265mmの降雨を記録。市内では広く浸水被害が発生しました。その被害額は、およそ978億円に及びました。

新潟市周辺浸水被害状況
 浸水・浸水範囲
 通船川の野木橋付近
 土砂がぐずれまづりになったJR新線橋
 新潟市西区 寺尾駅前付近
 新潟駅周りけやき通り

平成10年8月新潟豪雨 → 平成15年鳥屋野潟排水機場 竣工

水害からあたりまえの暮らしを守ります

平成10年8月新潟豪雨では、およそ5,400戸*もの浸水被害が発生しました。それと同じような大雨になっても、鳥屋野潟排水機場ができたことで床上浸水はゼロになります。

平成10年8月の浸水範囲
 事業実施後の浸水範囲

三島市付近より下流の信濃川で過去最高の水位を記録した平成23年7月の新潟・福島豪雨。鳥屋野潟排水機場をのべ54時間以上稼働させ、およそ654万m³(ピグスワン3.3杯分)を排水。まちが水びたしになるのを防ぎました。

	H10.8実績	事業実施後
浸水圏積 (ha)	2,529	1,991
床上浸水 (戸)	3,867	2,823
床上浸水 (戸)	1,558	0

解消!

展示状況



やすらぎ堤川まつり (H30.5.3~5)



新潟市西区役所 (H30.8.16~30)



新潟市東区役所 (H30.9.3~13)